



湯梨浜中学校だより

三智創造

第3号
令和7年5月12日
文責 松本 博

生徒の自治力に期待 ～生徒総会～

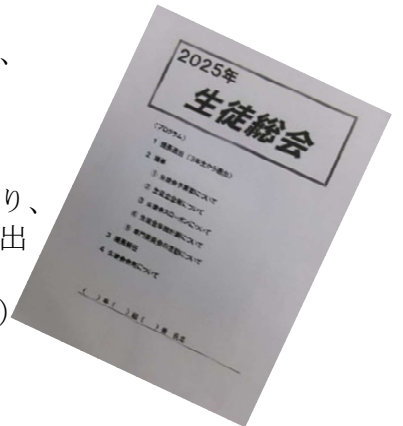
GWも終わり、いよいよ授業も学校行事も本格的になってきました。今週は各学年が研修や仲間づくりに励み、それが終わると、中間テスト、サマープラス、中部総体・・・と目白押しの状態です。

そんな中で5月9日（金）、生徒総会が開催されました。

この日は、生徒会の予算案、生徒会会則、生徒会スローガン、生徒会年間計画、専門委員会の活動の5つの議事について各担当から提案があり、協議の後に承認されました。議事進行に際しても、3年生から議長が選出され、とてもスムーズに進行しました。

生徒会が活発に活動している学校は、生徒同士の高め合う力（自治力）が強い学校です。湯梨浜中生徒会は、自治力を高め、ますます組織的に活動していくことと思います。

みんなの力で、さらに良い学校にしていくことと期待しています。



《令和7年度生徒会スローガン》
『欣星』-Have fun and grow up-



このスローガンに込めた思い

今年の湯梨浜中学校生徒会では、「学年の垣根を越え互いに高め合い一張一弛のある学校を作り上げていく」という目標に向かい取り組んでいこうと思っています。

そこで「仲間と共に団結しあってそれぞれの目標や夢、次の新たな湯梨浜中学校の歴史創りをみんなですていきたい」という願いを込めたスローガンです。



令和7年度 学校経営方針 ①基本理念

入学式やPTA総会で少しだけ触れてきましたが、学校だよりの紙面を何度か使って、湯梨浜中の生徒の成長過程をつくる基本となる学校の方針について説明します。

今回は、基本となる理念について説明します。

まずは、湯梨浜町の基本理念です。

『湯梨浜町教育の基本理念』

「志をもって 共に学び 明日を拓く 湯梨浜町の人づくり」

- ・町の伝統と文化を尊重し、将来にわたって町を愛し、自立して多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の担い手となる人づくりをめざす。

学力だけではなく、ふるさとキャリア教育等にも力を入れていきたいという思いが込められています。湯梨浜中学校も、この思いを踏まえ、次のとおり校訓を定めています。

『校訓』

「三智創造」

- ・湯梨浜中学校に特色ある三つの地域の人材が集い、ともに学び、創造性豊かな人間形成をめざし、未来を見据え、「開智（知識を広げる）・仁智（思いやりがあつて賢い）・叡智（優れた知恵）」を修めた人材が新たな智を創造する。

「羽合、泊、東郷、の3つの小学校（地区）で素晴らしい学びをしてきた生徒たちが、湯梨浜中学校に集い、この学校での仲間たちとの学びを通して、さらに知識を広げ、深め、そして豊かな心も育んでいく」という思いのこもった校訓です。

そして、さらに校訓を具体的に示したのが、次の「めざす生徒像」となります。

【めざす生徒像】

- （立志）高い志を立て、その実現のためにともに学び合い、未来を創り出そうとする
- （親愛）自らよりよい人間関係を築き、思いやりを持ち、ともに伸びようとする
- （創造）夢や目標に向かって自ら課題を発見し、粘り強く取り組み、課題を追求しようとする
- （郷土愛）ふるさとを愛し、地域社会の発展に貢献しようとする

学校は学習する場であると同時に、人間関係を育てる場でもあります。生活班、学習班、学級、学年、部活動、委員会活動・・・生徒は学校生活の中で、いくつもの集団に属します。その中で人間関係の構築やコミュニケーションの力などが身につけることをとおして、「立志」「親愛」「創造」「郷土愛」といった豊かな心を備えた大人へと成長してくれることを期待しています。そんな生徒を育てていくのが湯梨浜中学校です。

この生徒像は教職員の力だけでは実現しません。地域の方々の力、そして保護者の皆様の大きな力が必要となります。自己中心的言動、人間関係のトラブルなど、まだまだ未成熟なところは当然あります。その時に、「誰が」「どうかかわるのか」を大切に、これからも湯梨浜中学校での生活をしていきます。皆様の温かい力添えを引き続きお願いいたします。

次回は、「具体的な取り組み」についてお話しします。